

[TPN 水和剤 (フロアブル)]

ダコニールエース

有効成分：TPN (化管法1種) 53.0%

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体
毒性：－
危険物：－
有効年限：3年
包装：1ℓ×12本
4ℓ×4缶

ダコニールエースは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

〔特長〕

- 北海道の畑作・園芸の基幹殺菌剤に適する。
たまねぎ、てんさい、ばれいしょ、かぼちゃ、アスパラガスなどの主要病害に優れた効果を示す。
- 優れた予防効果を示す。
有効成分のTPNは、各種植物病原菌の孢子発芽と孢子形成を強く阻止することにより、優れた予防効果を示す。
- 耐性菌が問題となった事例がない。
- 残効性と耐雨性に優れ、汚れも少ない。
- ミツバチ等の有用昆虫や天敵への影響が少ない。

〔適用病害と使用方法〕

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期*	本剤の* 使用回数	使用方法	TPNを含む農薬の* 総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (リゾブス菌)	1000	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り0.5ℓ	は種時	1回	土壌灌注	2回
小麦	縞萎縮病	20~30	80~100ℓ/10a	は種前		全面散布後土壌混和	1回
ぎゅうり	べと病	1500	100~300ℓ/10a	前日	8回	散布	14回以内 (土壌灌注:2回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射:合計12回以内)
トマト	疫病 葉かび病				4回		6回以内 (土壌灌注:2回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射:合計4回以内)
ミニトマト					2回		2回
すいか メロン	つる枯病			3日	5回		5回
たまねぎ	べと病 黄斑病 灰色腐敗病	750	1.6ℓ/10a 3.2ℓ/10a	7日	6回	無人航空機による散布	6回
		750~1500					
	灰色かび病	8					
		16					

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期*	本剤の* 使用回数	使用方法	TPNを含む農薬の* 総使用回数			
てんさい	葉腐病	750	100~300ℓ/10a	30日	3回	散布	3回			
		750~1000								
	褐斑病	200	25ℓ/10a							
		8	1.6ℓ/10a							
		16	3.2ℓ/10a	無人航空機による散布						
アスパラガス	茎枯病 斑点病	1500	100~400ℓ/10a	前日	4回	散布	4回			
		8	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布				
		16	3.2ℓ/10a							
茶	炭疽病	1500	200~400ℓ/10a	10日	1回	散布	1回			
にんじん	黒葉枯病	750~1500	100~300ℓ/10a	7日	5回	散布	5回(種子への吹き付け処理:1回)			
	黒斑病	750								
ばれいしょ	疫病	750~1500	100~300ℓ/10a			7日	5回	無人航空機による散布	5回	
		125								25ℓ/10a
		8								1.6ℓ/10a
	夏疫病	16	3.2ℓ/10a					無人航空機による散布		
		750~1500	100~300ℓ/10a							
		8	1.6ℓ/10a							
		16	3.2ℓ/10a							
せんぎゅう	べと病	1000	100~300ℓ/10a			3回	散布	3回		
かぼちゃ	黒斑病 つる枯病	1500								
	うどんこ病	8		1.6ℓ/10a						
		16		3.2ℓ/10a						

※収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫（摘採）前の日数と、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

効果・薬害等の注意

- 使用直前に容器をよく振る。
- 石灰硫黄合剤との混用はさける。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守る。
 - ①散布は各散布機種種の散布基準に従って実施する。
 - ②散布にあっては散布機種種に適合した散布装置を使用する。
 - ③散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - ④散布薬液の飛散によって動植物及び自動車の塗装等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
 - ⑤散布終了後、機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。また使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。

- ホセチル剤と混用する場合、必ず本剤を先に所定の濃度に希釈してから加える。
- ばれいしょに対して希釈倍数125倍、てんさいに対して希釈倍数200倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意する。



- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受ける。

- 皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。

- 夏期高温時の使用をさける。



- 薬液調製時及び使用の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。



- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。



- 魚毒性等…水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意する。養殖池周辺での使用はさける。本剤を使用した苗は養魚田に移植しない。移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。

水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。

- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

[保管]：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管する。

化管法に対応するその他の注意事項は別表の分類3に表示してある。

農薬登録（登録番号）：エス・ディー・エス バイオテック (20169)

販売：クミアイ化学工業、住友化学